

平成28年度千葉市NPO活動大賞エントリーする活動に関する参考資料

エントリー番号	※エントリー番号欄には何も記載しないでください	
1 エントリーする活動名	市民農園活動を活用した「親子食農体験教室」の実施	
2 法人名	特定非営利活動法人千葉県市民農園協会	
3 活動の事業規模	収 益	千葉県市民農園協会の平成27年度当期収入額 262,004 円 (内訳：会員会費、研究会等活動参加費、一般寄付金) 当該エントリー事業にかかる市民農園協会一般会計内での収入は無い。
	費 用	千葉県市民農園協会の平成27年度当期支出額 244,853 円 当該エントリー事業費としての市民農園協会一般会計内での支出は無い。 当該事業協働3団体内の関連事業支出及び千葉県青少年協会が受け入れた助成事業支出を充当している。その総額は概ね 180,000 円である。その支出内容は、農地使用、専門的指導、除草・栽培管理、苗及び種子、肥料、油等食材、紙食器、燃料等が含まれる。
4 工夫した点	<p>① 一般に農業体験活動と食育活動は分けて行われているが、市民農園活動の場を活用しているため、“基本的な考え方”・“耕し栽培する体験”・“収穫したものを食べる体験”と食の全体の流れを組み込んだ。</p> <p>② 市民農園利用者が家族で野菜作りを楽しんでいる様子を見ることが出来るように、親子農業体験教室の終わりは市民農園施設を利用して手洗い等をお行い、休憩してから解散している。</p> <p>③ 屋外活動であることから、真夏の期間は開始を早めて時間を短縮したり、市民農園休憩施設を活用したりして、熱中症対策を行っている。</p> <p>④ 近頃は家庭では天麩羅を揚げることがないと言われていたので、昨年度からは、千草台園芸サークル（萩台市民農園）の行事経験豊かな幹事たちがついて、天麩羅を揚げて揚げたてを食べる体験を加えてた。参加の母親たちは殆どが未経験であり、子供たちも見たことも無い調理経験であったので大好評であった。</p> <p>⑤ 全体に、市民農園利用者及びその組織の経験を生かして行っているため、スムーズに進んできている。</p> <p>⑥ 当初から、全体管理・小学校への参加募集・資金管理を千葉県青少年協会が担当し、全体計画・農家との連携・全体の進行管理・基本的指導を千葉県市民農園協会が行い、体験教室の畑での親子に対する具体的な指導は千草台園芸サークル（千葉県市民農園協会団体会員）および千葉県市民農園協会の専門スタッフが対応するという、三者分担で行っている。</p>	
5 今後の活動の展望	<p>① 平成21年に開始以来、基本的枠組みを維持しながら、実際に行った経験に基づき少しずつ改善を加えて本年（平成28年）で8年継続している。</p> <p>② 基本的には現在の進め方であと2年、10年間の継続を実現する。</p> <p>③ この間にいろいろな改善点やアイデアを把握し、11年目以降の実施可否を農地所有者の農家と相談する。</p> <p>④ 農業体験教室の取組みを考えている団体等へ経験ノウハウを提供しながら、長期間常設の体験教室の設置の可能性を検討していきたい。</p>	